まちづくりが変わります！
私たちの好きなまちは私たちでつくろう
ー個性ある・魅力あるまちを目指してー

現在、市内の各地域で「まちづくり推進協議会」の平成23年度設立を目指して、検討・準備が行われています。このまちづくり推進協議会は、今年5月に策定した「地域づくり基本構想」の中で今後のまちづくりの中核をなすものです。

今月号ではまちづくり推進協議会がなぜ必要なのか、どのような目的で設置するのかをお知らせします。

■問い合わせ
市民協働推進課市民協働推進係（☎85・3576）

「地域づくり基本構想」の基本目標

みんなで築く
市民協働のまちづくり

きずな
絆

きっとすき
ずっとすき
なんばすっと もっとすき？

私たちは、おかげさま、おたがいさまの気持ちで、「私たちの好きなまちは私たちでつくろう」を合い言葉に、市民協働による暮らしやすいまちづくりを進めます！

まちづくり推進協議会とは？

「まちづくり推進協議会」とは、小学校区単位で自治会や子ども会などのほか、ボランティアやNPOなどの市民活動団体、地域の皆さんが一緒になって地域課題について話し合い、課題解決に向けて取り組むための組織です。

まちづくり推進協議会はなぜ必要なの？

①地域を取り巻く状況は？

近年、「近所付き合いが少なくなった」と言われています。これは人間関係が希薄化していることの表れで、一部では自治会や子ども会など、地域で活動する団体に入らない人も増え、構成員の減少や担い手不足が起こっています。

このため、地域で活動する団体が担ってきた社会的活動が十分に行えない状況が見受けられます。

さらに、防犯問題、孤立化がもたらす孤独死、ペットに関する問題など、地域課題は増加傾向にあります。

②行政の状況は？

ライフスタイルの変化により市民ニーズはさまざまになっています。そのような中、公共サービスのすべてを行政だけが担うことには限界があり、今後も、十分に応えることが難しくなってきています。

地域、行政のそれぞれの状況を解決するため「新たなまちづくりのあり方」として、まちづくり推進協議会の設立が必要です。

今後のまちづくりの視点は？

今後のまちづくりを考える上で欠かせないのが「市民協働」の視点です。

市民協働とは、行政だけではなく、市民や市民活動団体も一緒に「まちをつくっていこうよ」というまちづくりのための手段です。言ってみれば、市民協働とは「助け合うこと」です。

行政に何でも任せるのではなく、地域のことをよく知る皆さんが、まちづくり

に参加し、ボランティアやNPOと一緒に課題解決に当たることが、その地域の市民ニーズにより合ったものとなり、皆さんの満足も高いものになります。

まちづくり推進協議会は、市民、市民活動団体、行政などが協働してまちづくりを行う組織です。

まちづくり推進協議会の設立の目的は？

①一時的な行政・自治会のスリム化

まちづくり推進協議会の設立によって、行政側では人員などの削減効果や事務の軽減化が期待できます。

また、自治会側もまちづくり推進協議会内で団体間の連絡調整ができ、事務作業の軽減化を図ることができます。

②10年後の高齢化を乗り切る

「10年後、今住んでいるまちが、どんなまちになっているのか」は、なかなか想像できません。しかし、確実に言えることは、現在の私たちが10歳年を取っているということです。

実際に平成30年には、鳥栖市でも「4人に1人が高齢者」という社会になるとの推計があります。まちづくり推進協議会を設立することで、今のうちにさまざまな年代が活動できる仕組みや、高齢者同士でも連携して活動できる場を作っておくことができます。

③地域の繋がりを強化して「モレ」を少なくする

地域のさまざまな市民ニーズには、地域で活動する団体だけでは応えられないものがあります。

まちづくり推進協議会の中で市民活動団体が連携し、地域の繋がりを強化することで、さまざまな市民ニーズに応えられる部分を広げ、「市民ニーズに応えられない部分＝『モレ』」を少なくすることができます。

④地域で活動する団体同士で、お互いの状況を「知らない」という状態を打破

まちづくり推進協議会に地域で活動する団体を取り込むことで、団体間の連絡を密にすることができ、相互理解が深まります。

また、効果的な連携と協働による新たな活動が展開されます。

まちづくり推進協議会ができるとどうなるの？

まちづくり推進協議会では、その地域の長所（誇りとする良いところ）や課題（問題があるところ）を地域の皆さんで認識し、共有することが必要です。そして、その地域の長所の活用策や課題解決のアイデアを出し合い実践します。

地域の長所や課題は、地域ごとに違い、長所を活用したり、課題解決をすることで、それぞれの地域が個性ある、魅力あるまちになっていきます。

地域住民は何をすればいいの？

これからは、市民、市民活動団体、行政などが協働しながらまちづくりを行う時代です。

地域の皆さんで、どのようにしたら暮らしやすくなるかを、まず話し合いませんか。そして「おかげさま」「おたがいさま」の気持ちで、できる範囲で協力し、皆さんの個性と能力を地域活動で発揮していきませんか。

次世代のためにも、ぜひ今から取り組みましょう。

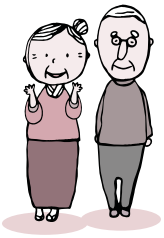
まちづくり推進協議会の詳しい内容については、今後配布する「まちづくり通信『きずな』」でお知らせします。

鳥栖の高齢化、どうなる？

平成20年12月31日現在

鳥栖市の人口 66,767人

65歳以上の人の割合 18.7%



10年後の推計値

鳥栖市の人口 69,565人

65歳以上の人の割合 24.6%

平成30年には鳥栖市でも4人に1人が65歳以上の高齢者！

※国立社会保障・人口問題研究所の『日本の市区町村別将来推計人口』を参考に推計。

まちづくり推進協議会は、「なんばすっと」を地域の皆さんで考え、実践する場です。

今まで一緒に話をする機会がなかった、地域で活動する団体やボランティア・NPO、地域の皆さんが共通の課題について話し合うと、よりよい解決策が生まれます！

まちづくり推進協議会が、地域の新たな【き・ず・な】になります。